



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月15日

上場会社名 日創グループ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL https://www.nissogroup.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR・SR部長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 定時株主総会開催予定日 2026年11月26日 配当支払開始予定日 2026年11月27日
 有価証券報告書提出予定日 2026年11月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（個人投資家・機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期の連結業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		EBITDA※		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年8月期	21,512	△6.6	620	△55.1	1,648	△23.1	605	△56.8	517	△43.6
2025年8月期	23,037	30.2	1,383	8.4	2,144	12.8	1,401	2.9	917	△16.2

（注）包括利益 2026年8月期 566百万円（△39.2％） 2025年8月期 931百万円（△14.6％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年8月期	80.58	—	4.0	2.0	2.9
2025年8月期	141.88	—	7.4	5.7	6.0

（参考）持分法投資損益 2026年8月期 ー百万円 2025年8月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年8月期	35,104	12,958	36.9	2,018.23
2025年8月期	26,948	12,648	46.9	1,969.95

（参考）自己資本 2026年8月期 12,958百万円 2025年8月期 12,648百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	2,402	△901	2,206	10,769
2025年8月期	2,920	△3,931	2,547	7,060

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当 率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年8月期	—	0.00	—	40.00	40.00	256	28.2	2.1
2026年8月期	—	0.00	—	42.00	42.00	269	52.1	2.1
2027年8月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00		98.8	

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		EBITDA※		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	11,500	8.6	100	△82.5	680	△36.3	30	△95.0	10	△96.0	1.56
通期	27,000	25.5	900	45.0	2,020	22.5	730	20.6	260	△49.7	40.49

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 39社 (社名) 東北クリーンエネルギー02合同会社 他38社 除外 1社 (社名) 株式会社ダイリツ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年8月期	6,832,500株	2025年8月期	6,832,500株
2026年8月期	411,736株	2025年8月期	411,736株
2026年8月期	6,420,764株	2025年8月期	6,465,311株

(参考) 個別業績の概要

2026年8月期の個別業績（2025年9月1日～2026年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	666	△85.3	105	△44.6	338	△69.4	1,298	31.2
2025年8月期	4,525	△7.2	190	△9.1	1,104	191.4	990	194.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	202.27	—
2025年8月期	153.13	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	21,945	10,765	49.1	1,676.70
2025年8月期	16,849	9,723	57.7	1,514.42

(参考) 自己資本 2026年8月期 10,765百万円 2025年8月期 9,723百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、持株会社体制への移行に伴い、2025年6月1日付で吸収分割方式による会社分割を実施したこと、並びに当事業年度において、株式譲渡による関係会社株式を売却したこと等により、個別経営成績について前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	17
4. その他	18
(1) 役員の異動	18
(2) 生産、受注及び販売の実績	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢や自然災害、金融資本市場の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、金属加工事業において、データセンター関連案件が好調に推移したものの、太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルが減少しました。また、化成品事業で、前連結会計年度に子会社化した大鳳株式会社及び株式会社泉製作所の業績が期首から寄与しましたが、建設事業において、大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動により、売上高は21,512百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は620百万円（同55.1%減）、経常利益は605百万円（同56.8%減）となりました。なお、子会社株式（株式会社ダイリツ）を譲渡したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は517百万円（同43.6%減）となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているE B I T D A※は1,648百万円（同23.1%減）、R O Eは4.0%（同3.4ポイント減）となりました。

※E B I T D A＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額

当連結会計年度より、株式会社B SLASH HOLDINGS並びに同社の子会社である株式会社ベルフラッツ、株式会社ビーズネクス及び株式会社ビーズコンセプトを連結の範囲に含めたことに伴い、当社グループにおける事業内容及び経営管理区分を見直した結果、報告セグメントの名称を従来の「タイル事業」から「ライフスタイル事業」に変更しております。

また、当該見直しに伴い、従来「その他」に含めておりましたカナエテ株式会社及び株式会社マルトクについても、当連結会計年度より「ライフスタイル事業」に含めて表示しております。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

データセンター関連案件は好調に推移しましたが、太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルが減少し、売上高は7,697百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は698百万円（同36.4%減）、当連結会計年度末における受注残高は1,956百万円（同38.1%減）となりました。

(化成品事業)

前連結会計年度において子会社化した大鳳株式会社及び株式会社泉製作所の業績が期首から寄与し、売上高は4,869百万円（前年同期比78.0%増）、セグメント利益は284百万円（同40.1%増）、当連結会計年度末における受注残高は397百万円（同43.0%増）となりました。

(建設事業)

大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動により、売上高は2,554百万円（前年同期比62.4%減）、セグメント利益は38百万円（同94.9%減）、当連結会計年度末における受注残高は1,412百万円（同10.0%増）となりました。

(ライフスタイル事業)

当連結会計年度において子会社化した株式会社ベルフラッツ及び株式会社ビーズネクスが売上高に貢献した一方、カナエテ株式会社において新規事業の立ち上げに伴う認知度向上、顧客獲得及び販売基盤構築に向けた先行投資を積極的に実施いたしました。加えて、株式会社ベルフラッツにおいて、来期以降の竣工物件に対する広告宣伝費が先行して計上されたことなどにより、売上高は6,368百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント損失は299百万円（前年同期は150百万円のセグメント損失）、当連結会計年度末における受注残高は1,379百万円（同59.2%増）となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△96百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は21,618百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,786百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が3,229百万円、販売用不動産が1,003百万円、仕掛販売用不動産が3,189百万円それぞれ増加し、売掛金が491百万円、契約資産が855百万円、電子記録債権が561百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、固定資産は13,485百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,369百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が1,088百万円、無形固定資産のその他が1,231百万円増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の資産合計は35,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,155百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は13,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,991百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が3,429百万円、1年内返済予定の長期借入金が600百万円、未払法人税等が337百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は8,538百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,854百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が2,707百万円増加したことによるものであります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は22,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,845百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は12,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ309百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益517百万円、剰余金の配当256百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.9%（前連結会計年度末は46.9%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,708百万円増加し10,769百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,402百万円（前年同期は2,920百万円の獲得）となりました。主な収入要因は、税金等調整前当期純利益1,568百万円、減価償却費722百万円、のれん償却額305百万円、売上債権及び契約資産の減少1,743百万円であります。主な支出要因は、子会社株式売却益984百万円、棚卸資産の増加502百万円、仕入債務の減少309百万円、法人税等の支払額734百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は901百万円（前年同期は3,931百万円の使用）となりました。主な収入要因は、定期預金の純減額387百万円、投資有価証券の売却による収入550百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入1,363百万円であります。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出807百万円、無形固定資産の取得による支出1,314百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,040百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2,206百万円（前年同期は2,547百万円の獲得）となりました。主な収入要因は、短期借入金の純増額2,807百万円、長期借入れによる収入1,618百万円であります。主な支出要因は、長期借入金の返済による支出1,931百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
自己資本比率 (%)	66.8	51.0	53.8	46.9	36.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	24.9	27.0	32.5	26.6	16.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	10.6	—	3.5	7.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	22.4	—	38.1	12.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 2022年8月期及び2024年8月期は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社は、2024年10月15日で公表いたしました「第4次中期経営計画～『創る』力で未来に挑む企業グループ～」において、グループビジョンを再定義し、「『創る』力で未来に挑む企業グループ」として刷新いたしました。この新しいグループビジョンのもと、最終年度にあたる2027年8月期の連結業績見通しにつきましては、金属加工事業において、株式会社ダイリツが当連結会計年度にグループアウトしたことによる減収があるものの、ライフスタイル事業においてM&Aによりグループインした株式会社ベルフラッツ及び株式会社ビーズネクサスの売上が期首から寄与することにより、売上高27,000百万円（前年同期比25.5%増）、営業利益900百万円（同45.0%増）、E B I T D A 2,020百万円（同22.5%増）、経常利益730百万円（同20.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益260百万円（同49.7%減）を予想しております。具体的な内容につきましては、本日（2026年10月15日）公表の「2026年8月期通期決算説明資料」をご参照ください。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,752	10,982
受取手形	117	17
売掛金	2,365	1,874
契約資産	1,311	456
電子記録債権	1,169	608
リース債権	6	6
商品及び製品	1,410	1,345
販売用不動産	—	1,003
仕掛品	584	564
未成工事支出金	70	168
仕掛販売用不動産	—	3,189
原材料及び貯蔵品	762	769
関係会社短期貸付金	130	243
その他	159	397
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	15,832	21,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,106	7,323
減価償却累計額	△4,568	△4,369
建物及び構築物（純額）	2,538	2,953
機械装置及び運搬具	8,765	8,182
減価償却累計額	△7,071	△6,694
機械装置及び運搬具（純額）	1,693	1,487
土地	3,025	3,949
リース資産	157	142
減価償却累計額	△62	△74
リース資産（純額）	94	67
建設仮勘定	24	14
その他	926	854
減価償却累計額	△831	△768
その他（純額）	95	85
有形固定資産合計	7,471	8,559
無形固定資産		
のれん	2,059	2,368
その他	96	1,327
無形固定資産合計	2,155	3,695
投資その他の資産		
投資有価証券	991	716
リース債権	70	64
繰延税金資産	259	113
その他	183	380
貸倒引当金	△13	△43
投資その他の資産合計	1,489	1,231
固定資産合計	11,116	13,485
資産合計	26,948	35,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,106	1,243
工事未払金	159	262
契約負債	72	251
短期借入金	4,150	7,579
1年内返済予定の長期借入金	1,093	1,694
リース債務	30	26
未払法人税等	529	867
賞与引当金	165	187
その他	1,309	1,494
流動負債合計	8,615	13,607
固定負債		
長期借入金	4,849	7,556
リース債務	87	58
繰延税金負債	194	406
退職給付に係る負債	175	135
資産除去債務	308	275
その他	69	106
固定負債合計	5,683	8,538
負債合計	14,299	22,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190	1,190
資本剰余金	1,110	1,110
利益剰余金	10,672	10,933
自己株式	△345	△345
株主資本合計	12,629	12,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	68
その他の包括利益累計額合計	18	68
純資産合計	12,648	12,958
負債純資産合計	26,948	35,104

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
売上高	23,037	21,512
売上原価	17,414	15,740
売上総利益	5,622	5,771
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	850	870
役員報酬	372	403
給料及び手当	932	1,121
賞与	67	47
賞与引当金繰入額	131	165
退職給付費用	38	29
貸倒引当金繰入額	16	30
研究開発費	8	30
その他	1,820	2,450
販売費及び一般管理費合計	4,238	5,151
営業利益	1,383	620
営業外収益		
受取利息	7	22
受取配当金	1	6
受取家賃	7	27
受取保険金	1	22
売電収入	28	33
その他	56	47
営業外収益合計	103	160
営業外費用		
支払利息	76	172
その他	9	3
営業外費用合計	85	176
経常利益	1,401	605
特別利益		
固定資産売却益	8	6
投資有価証券売却益	—	120
関係会社株式売却益	—	984
補助金収入	184	—
特別利益合計	193	1,111
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	3	39
減損損失	91	98
その他	—	10
特別損失合計	97	148
税金等調整前当期純利益	1,497	1,568
法人税、住民税及び事業税	632	938
法人税等調整額	△52	112
法人税等合計	579	1,050
当期純利益	917	517
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	917	517

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	917	517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	49
その他の包括利益合計	14	49
包括利益	931	566
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	931	566
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,176	1,096	9,984	△204	12,054
当期変動額					
新株の発行	13	13			27
剰余金の配当			△229		△229
親会社株主に帰属する 当期純利益			917		917
自己株式の取得				△141	△141
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	13	13	688	△141	575
当期末残高	1,190	1,110	10,672	△345	12,629

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	
当期首残高	4	4	12,058
当期変動額			
新株の発行			27
剰余金の配当			△229
親会社株主に帰属する 当期純利益			917
自己株式の取得			△141
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	14	14	14
当期変動額合計	14	14	589
当期末残高	18	18	12,648

当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,190	1,110	10,672	△345	12,629
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△256		△256
親会社株主に帰属する 当期純利益			517		517
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	260	—	260
当期末残高	1,190	1,110	10,933	△345	12,890

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計	
当期首残高	18	18	12,648
当期変動額			
新株の発行			—
剰余金の配当			△256
親会社株主に帰属する 当期純利益			517
自己株式の取得			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	49	49	49
当期変動額合計	49	49	309
当期末残高	68	68	12,958

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,497	1,568
減価償却費	640	722
減損損失	91	98
のれん償却額	120	305
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	30
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	32
受取利息及び受取配当金	△9	△29
補助金収入	△192	—
支払利息	76	172
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△120
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△984
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△5
固定資産除却損	3	39
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	644	1,743
棚卸資産の増減額 (△は増加)	343	△502
仕入債務の増減額 (△は減少)	△285	△309
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26	△137
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△184	209
その他	338	466
小計	3,135	3,306
利息及び配当金の受取額	9	28
補助金の受取額	192	—
利息の支払額	△76	△196
法人税等の支払額	△340	△734
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,920	2,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	343	387
有形固定資産の取得による支出	△595	△807
有形固定資産の売却による収入	9	129
無形固定資産の取得による支出	△44	△1,314
投資有価証券の取得による支出	△713	△69
投資有価証券の売却による収入	—	550
関係会社貸付けによる支出	△130	△113
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,793	△1,040
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,363
その他	△7	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,931	△901
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,580	2,807
長期借入れによる収入	2,543	1,618
長期借入金の返済による支出	△1,181	△1,931
自己株式の取得による支出	△140	—
リース債務の返済による支出	△24	△31
配当金の支払額	△229	△256
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,547	2,206
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,536	3,708
現金及び現金同等物の期首残高	5,524	7,060
現金及び現金同等物の期末残高	7,060	10,769

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社である当社と事業会社である連結子会社から構成されており、「金属加工事業」、「化成品事業」、「建設事業」及び「ライフスタイル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「金属加工事業」は、建設、エネルギー、機械設備分野等における各種金属製品の企画・設計・加工・製造・販売の事業であります。

「化成品事業」は、住宅、機械、インフラ分野、輸送機械等における各種ゴム・ウレタン製品・樹脂成型製品の企画・設計・加工・製造・販売の事業であります。

「建設事業」は、内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心とした建設工事の事業であります。

「ライフスタイル事業」は、タイル製造・販売、木材加工・卸売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び分譲マンションの企画・開発・販売、リノベーション事業であります。

なお、当連結会計年度より、株式会社B SLASH HOLDINGS並びに同社の子会社である株式会社ベルフラッツ、株式会社ビーズネクサス及び株式会社ビーズコンセプトを連結の範囲に含めたことに伴い、事業内容及び経営管理区分を見直した結果、報告セグメントの名称を「タイル事業」から「ライフスタイル事業」に変更しております。

また、当該見直しに伴い、従来「その他」に含めておりました木材加工・卸売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発についても、当連結会計年度より「ライフスタイル事業」に含めて表示しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	金属加工事業	化成品事業	建設事業	ライフスタイル事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	8,001	2,734	6,796	5,491	23,024	12	23,036
その他の収益 (注) 4	1	—	—	—	1	—	1
外部顧客への売上高	8,002	2,734	6,796	5,491	23,025	12	23,037
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,178	1	0	19	1,200	△1,200	—
計	9,180	2,736	6,796	5,511	24,225	△1,188	23,037
セグメント利益又は損失 (△)	1,097	203	753	△150	1,903	△520	1,383
セグメント資産	9,999	6,469	2,927	5,618	25,015	1,932	26,948
その他の項目							
減価償却費	482	33	6	89	611	28	640
のれん償却額	31	32	36	20	120	—	120
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	438	11	14	74	539	110	649

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△520百万円は、セグメント間取引消去37百万円、子会社株式の取得関連費用△153百万円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△403百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額1,932百万円は、セグメント間債権債務等消去△771百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産2,703百万円であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、 3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	金属加工事 業	化成品事業	建設事業	ライフス タイル事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	7,696	4,869	2,554	6,368	21,489	—	21,489	22	21,511
その他の収益 (注) 5	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	7,697	4,869	2,554	6,368	21,490	—	21,490	22	21,512
セグメント間の内部売上高又 は振替高	352	1	17	6	378	—	378	△378	—
計	8,050	4,870	2,572	6,375	21,868	—	21,868	△355	21,512
セグメント利益又は 損失 (△)	698	284	38	△299	721	△4	717	△96	620
セグメント資産	8,666	5,402	4,197	13,378	31,645	1,591	33,237	1,867	35,104
その他の項目									
減価償却費	485	112	8	96	703	—	703	19	722
のれん償却額	31	210	36	27	305	—	305	—	305
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	177	188	5	229	601	1,505	2,107	13	2,120

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△96百万円は、セグメント間取引消去△200百万円、子会社株式の取得関連費用△241百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用344百万円であります。全社収益は主に各グループ会社からの経営管理料収入であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント資産の調整額1,867百万円は、セグメント間債権債務等消去△5,102百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産6,969百万円であります。
4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
5. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大林組	3,168	建設事業

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：百万円)

	金属加工 事業	化成品事業	建設事業	ライフス タイル事業	全社・消去	合 計
減損損失	—	—	—	91	—	91

(注) ライフスタイル事業において、建物及び構築物の減損損失9百万円、土地の減損損失14百万円、有形固定資産のその他の減損損失0百万円、のれんの減損損失41百万円、無形固定資産のその他の減損損失24百万円を計上しております。

当連結会計年度（自 2025年9月1日 至 2026年8月31日）

(単位：百万円)

	金属加工 事業	化成品事業	建設事業	ライフス タイル事業	その他	全社・消去	合 計
減損損失	77	—	—	20	—	—	98

(注) 金属加工事業において、建物及び構築物の減損損失30百万円、機械装置及び運搬具の減損損失44百万円、有形固定資産のその他の減損損失1百万円、無形固定資産のその他の減損損失0百万円を計上しております。ライフスタイル事業において、建物及び構築物の減損損失13百万円、有形固定資産のその他の減損損失1百万円、無形固定資産のその他の減損損失5百万円を計上しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年9月1日 至 2025年8月31日）

(単位：百万円)

	金属加工 事業	化成品事業	建設事業	ライフス タイル事業	全社・消去	合 計
当期償却額	31	32	36	20	—	120
当期末残高	183	1,653	129	92	—	2,059

(のれんの金額の重要な変動)

「化成品事業」セグメントにおいて、当社が大鳳株式会社、フォームテックス株式会社及び株式会社泉製作所を子会社化したことに伴い、のれんの金額が増加しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は1,686百万円であります。

当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	金属加工 事業	化成品事業	建設事業	ライフス タイル事業	その他	全社・消去	合 計
当期償却額	31	210	36	27	—	—	305
当期末残高	151	1,443	93	680	—	—	2,368

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフスタイル事業」セグメントにおいて、株式会社B SLASH HOLDINGS並びに同社の子会社である株式会社ベルフラッツ、株式会社ビーズネクスス及び株式会社ビーズコンセプトを子会社化したことに伴い、のれんの金額が増加しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は614百万円であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり純資産額	1,969.95円	2,018.23円
1株当たり当期純利益	141.88円	80.58円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	917	517
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	917	517
普通株式の期中平均株式数 (株)	6,465,311	6,420,764

(重要な後発事象の注記)

(投資に係る重要な事象)

当社は、2026年9月28日付取締役会において、投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）の組成に参加し、有限責任組合員として出資を行うことを決議いたしました。

1. 本ファンドの概要

- | | |
|--------------|--|
| (1) 名称 | 日創リフレイ 1 号投資事業有限責任組合 (※) |
| (2) 所在地 | 東京都千代田区神田三崎町二丁目15番6号 |
| (3) 組成日 | 2026年10月2日 |
| (4) 設立根拠 | 投資事業有限責任組合契約に関する法律 |
| (5) 投資対象 | 国内の主に製造業において、優良な事業を有し出資を通じて新たな発展や成長が期待される事業者、後継者問題を抱える事業者、事業再編に伴い分離独立する子会社や事業部門、業界再編による企業統合のための持株会社等 |
| (6) ファンド総額 | 20億円 分割払い込み（キャピタルコール）方式 |
| (7) ファンド運用期間 | 8年（最大2年の延長可能） |
| (8) 出資者、出資比率 | 無限責任組合員：日本プライベートエクイティ株式会社（0.5%）
有限責任組合員：日創グループ株式会社（98.5%）
株式会社西日本シティ銀行（1.0%） |

(※) 日創リフレイ 1 号投資事業有限責任組合の「リフレイ」とは、「みがく (Refine)」「つなぐ (Relay)」から生まれた造語であります。

2. 損益に及ぼす重要な影響

本件が2027年8月期連結業績に与える影響は軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

(1) 役員の異動

本日公表いたしました「役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	5,271	77.8
化成品事業	1,463	231.5
合計	6,734	90.9

(注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。

2. 建設事業、ライフスタイル事業及びその他については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

② 受注実績

当連結会計年度の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	6,493	77.3	1,956	61.9
化成品事業	4,989	170.3	397	143.0
建設事業	2,683	82.1	1,412	110.0
ライフスタイル事業	6,881	131.3	1,379	159.2
合計	21,047	106.1	5,146	92.1

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 従来「その他」に含めて記載しておりました木材加工・販売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発においては、当連結会計年度より「ライフスタイル事業」に含めて記載しております。

なお、前年同期比については変更後のセグメント区分の数値と比較しております。

③ 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
金属加工事業	7,697	96.2
化成品事業	4,869	178.0
建設事業	2,554	37.6
ライフスタイル事業	6,368	116.0
全社・消去	22	182.0
合計	21,512	93.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 従来「その他」に含めて記載しておりました木材加工・販売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発においては、当連結会計年度より「ライフスタイル事業」に含めて記載しております。

なお、前年同期比については変更後のセグメント区分の数値と比較しております。

3. 最近2連結会計年度の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
株式会社大林組	3,168	13.8	—	—

当連結会計年度の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。